

## 獣医師の方へ

### サンプリング時の注意事項及び後の検体処理方法について

飼育動物（主として犬、猫）が以下の症状を主訴に受診した場合、あるいは、通院している診療動物（主として犬、猫）に以下の症状が認められた場合。

1. 難治性のくしゃみや鼻汁、眼脂などの風邪様症状
2. 難治性の皮膚炎

先生方が通常利用されている検査センターへ以下の 1)、2) の検体を細菌検査として検査依頼してください。

- 1) 風邪様症状の場合は、抗菌薬の投与前に鼻腔、口腔内（できれば咽頭部）、目、外耳などからスワブ（綿棒）を使用して検体を採取する。（滅菌綿棒に生理食塩水を湿らせて、当該部位をぬぐう。）
- 2) 皮膚の潰瘍や皮膚炎が認められた場合は、抗菌薬の投与前に、当該患部や痂皮などから滅菌綿棒による検体を採取する。

分離同定結果がコリネバクテリウム属菌となった場合は、*Corynebacterium ulcerans* 感染症である可能性があります。その場合は、検査センターに菌株の確保を手配いただき、以下の「*C. ulcerans* 感染疑い動物の検査依頼連絡先」に事前に連絡の上、検査の依頼をしていただきますようお願いいたします。検体または菌株の送付方法などの詳細につきましては、ご連絡いただいた際にご説明いたします。

#### *Corynebacterium ulcerans* 感染疑い動物の検査連絡先

担当者	組織	連絡先
岩城 正昭	国立感染症研究所 細菌第二部第三室	042-561-0771
山本 明彦	国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室	042-561-0771
中嶋 洋	岡山県環境保健センター 細菌科	086-298-2681
(部署対応)	東京都健康安全研究センター 微生物部病原細菌研究科寄生虫・動物由来感染症	03-3363-3231
古川 一郎	神奈川県衛生研究所 微生物部	0467-83-4400
梅田 薫	大阪健康安全基盤研究所 微生物部微生物課	06-6771-3147